

# 決算認定議案の審査より

9月定例会では昨年度の予算が適正に執行されたか、その過程や結果について議会がチェックをする決算認定案の審査を行い、いずれも認定されました。  
委員会でのどのような質疑が交わされているのか、その一部をお知らせします。

## 総務委員会

**問** 法人市民税は前年度比11.1%の減収となり、新型コロナウイルス対策を講じながら税収減への対応をどのように考えていますか。

**答** 半田市の産業構造は多岐に渡っており、他市のように危機的状況に陥るほどの税収減は見込んでいません。地元企業を大切にしながら経済活性化に取り組んでいきます。

## 公共交通対策事業

**問** 「亀崎・有脇線」についてはコロナ以前から利用が低く、さらに減少の結果となりました。多額の市費を投入し維持することについてどのように考えていますか。

**答** 利用促進を図りつつ、移動手段としての需要を見極め、バスの継続、異なる手段の模索など、検討が必要であると考えています。

## ふるさと納税事業

**問** 成果が上がっている一方で、寄附額と半田市の市民税が控除された額の差し引きが約2億円という結果であり、組織的な課題があると感じますがどのように考えていますか。

**答** 魅力ある返礼品やPR方法等の問題であり、組織の問題ではないと考えています。全庁的にアイデアを出し合える仕組みを考えていきます。

## ICTを活用したまちづくり推進事業

**問** 半田市としてどのようにオープンデータを充実させ、市民サービスの向上を図りますか。

**答** 市として、出せる数値はオープンにすることで、事業者を含め多くの市民に活用していただけるよう、今後でもできる限り積極的に公表していきます。

## 半田市立半田病院事業

**問** 患者サポートセンターの取組みについて、その成果をどのように分析していますか。

**答** 情報を共有し、看護師、理士等によるチーム医療が可能であること、また、患者さんが相談しやすい体制が整備され、不安が軽減されることなどが成果と捉えています。

【総務委員会 決算審査の様子】



## 文教厚生委員会

### 地域福祉推進事業

**問** ふくし井戸端会議について、参加者の減少や固定化といった課題の解決に向けてどのように取り組みましたか。

**答** これまでは各地域において会議を開催することで実施していましたが、各地域の集會等に職員が出向く方法へ変更しました。そのことにより、参加者の減少や固定化の課題の解決につながると考えています。

## いじめ・不登校対策事業

**問** 不登校児童・生徒数が増加傾向にあることについて、どのように考えていますか。

**答** 学校に来てもらうのが最善であるとは考えていますが近年では「必ずしも学校に通う必要はない」という価値観が社会的にも認められているため、様々な形で「子どもの学びを保証する場」が提供できるような環境を整えたいと考えています。

## コミュニティ・スクール推進事業

**問** 学校によって取組み具合に差があると思いますが、改善に向けてどのように取り組みましたか。

**答** 各学校が他校での取組みを把握していないことが原因であると考え、情報交換会を実施し、各学校での取組みや抱えている課題について情報交換を行いました。